

国際法外交雑誌

第124巻 第4号

2026年1月

論 説

時際法再考

立教大学教授 許 淑 娟 1

条約難民の国際的な移動と婚姻の有効性

——不均衡な婚姻となる状況の発生に焦点を当てて—— 福岡大学教授 北 坂 尚 洋 30

平和を上回る人権？

——和平と処罰の関係の再検討—— 津田塾大学准教授 下 谷 内 奈 緒 55

判 例 研 究

国際司法裁判所

訴追か引渡しかの義務事件（ベルギー対セネガル）

（仮保全措置命令・2009年5月28日）（判決・2012年7月20日）

名古屋大学教授 前 田 直 子 82

資 料

国連国際法委員会第76会期の審議概要

国際法委員会研究会 95

紹 介

竹内 悠 著『商業宇宙活動と国際法』

東京大学特任研究員 高 屋 友 里 125

木棚照一 著

『現代社会のグローバル化に伴う国際私法原則の研究

——当事者意思の位置づけ試論——』

東京大学名誉教授・東北大学名誉教授 早 川 眞 一 郎 131

玉置敦彦 著『帝国アメリカがゆずるとき——譲歩と圧力の非対称同盟——』

埼玉大学教授 草 野 大 希 136

会 報

訃報

142

総 目 次

143